

Business Video On-Premises Experience 12.0 v1 と Skype for Business

最終更新日: 2017 年 12 月 13 日

このデモンストレーションについて

Cisco Business Video Experience デモンストレーションの内容は、次のとおりです。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに](#)
- [シナリオ 1: Microsoft Skype for Business 2015 によるアドホック会議でのデュアル ホーム エクスペリエンス](#)
- [シナリオ 2: Microsoft Skype for Business 2015 と Cisco Unified Communications によるデュアル ホーム エクスペリエンス](#)

要件

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> • 以下のいずれかの MRA 対応ビデオ エンドポイント 1 台: <ul style="list-style-type: none"> ○ Cisco Unified IP Phone モデル 8845 ○ Cisco Unified IP Phone モデル DX70 または DX80 (Android でない CE オペレーティング システム搭載) ○ Cisco Jabber 搭載 Windows ラップトップ ○ Cisco Jabber 搭載 Apple iPad または iPhone • 別のビデオ エンドポイント (UCM に登録できる端末) • B2B エンドポイント 1 台 (dCloud Unified Communications に未登録のもの) • ラップトップ 	<ul style="list-style-type: none"> • AP 付きルータ (Cisco dCloud 用に登録および設定済み) • Cisco SX10 ルーム システム • その他任意の Cisco Unified Communications ビデオ エンドポイント

このシスコ ソリューションについて

Cisco Business Video Experience 12.0 v1 は、シスコ コラボレーション デバイスが持つ強みをビジネス シーンに提供することにより、ネットワーク全体における意思決定と情報共有を迅速化することができます。モビリティ製品によって移動先でも接続と生産性を維持できるため、ホーム オフィスで作業している場合や、あるいは公共のインターネット ホット スポットを経由して作業しているような場合でも、モバイル デバイスからビデオ会議のライブ セッションに参加できます。

このデモンストレーションでは **Cisco Collaboration Edge アーキテクチャ** を使用しており、VPN を使用しなくても、企業ネットワーク外部の連絡先へセキュアなビデオ コールを送信できる方法を紹介します。このアーキテクチャでは、シスコ ゲートウェイ製品の機能とシスコ コラボレーション ソリューションのコア機能が融合されています。両方の機能を連携させ、今日の市場で最も包括的なエニーツーエニー ソリューションを使用することで、障壁を取り除き、効率的なコラボレーションを実現できます。Cisco Collaboration Edge アーキテクチャは、セキュリティ、導入の容易さ、オープンスタンダードな相互運用性を提供しながら、エンドユーザのエクスペリエンスを改善します。

Cisco Collaboration Edge アーキテクチャの詳細については、ソリューションの[製品ページ](#)を参照してください。

Cisco Meeting Server Spaces では、WebRTC を使用した統合型ブラウザベースのビデオ会議および画面共有が提供されるため、ユーザは自分のスペースから相互に直接通話することができます。Cisco Meeting Server では個人用のスペースに加えてチーム スペースを利用可能で、チーム内のすべてのインタラクションを 1 つの場所にまとめることができます。この仮想ルームでは、音声会議とビデオ会議を開催できます。ユーザは相互にチャットしたり、作業を共有することができます。チーム スペースには制限がなく、いつでも誰でも利用できます。各スペースには固有のビデオ アドレス、音声ダイヤルインと Web リンクが与えられ、常設チャット ウォールも設置されています。

Cisco Meeting Server Space の詳細については、<https://www.ciscomeetingserver.com/enterprise-products/> [英語] を参照してください。

企業側には、このデモンストレーションによって Cisco Meeting Server セッションを記録してビデオ オン デマンド (VOD) またはライブ ストリーミング イベントとして配信可能な **VBrick Rev** ソリューションの能力とシンプルさが示されます。ビデオの使用量が消費者と企業の両方のスペースで爆発的に増加した場合、VBrick によってビデオの能力を利用し、ネットワーク内で簡単にビデオ コンテンツを配信できます。VBrick の Rev プラットフォームと DME プラットフォームの両方を組み合わせることにより、あらゆる組織は苦勞することなく、ストリーミングや録画を含むように UC 戦略を拡大し、一元化されたビデオ録画リポジトリを提供することができます。また、既存の LAN/WAN アーキテクチャに悪影響を及ぼすことのない方法で、ライブ ストリーミング イベントをサポートすることができます。VBrick ソリューションの詳細については、VBrick Rev の[データシート](#)を参照してください。

Cisco Business Video Experience の詳細については、ビデオ コラボレーションの[概要ページ](#)に加え、[Cisco TelePresence](#) および[コラボレーション](#) ビデオ エンドポイントの製品仕様を参照してください。

事前設定されたこのデモンストレーションでは、**Cisco Business Video** ソリューションを使用することで達成できる、以下のようなビジネス成果を紹介します。

1. 企業 LAN、モバイル ユーザ (MRA)、およびサード パーティのドメイン (B2B) などのさまざまなデバイスや場所で接続されたユーザとのビデオ会議へのエスカレーション。ドキュメント共有機能などのコラボレーション機能も提供します。
2. **Cisco Meeting Server** のコラボレーション ソリューションにより、カスタマイズ可能な複数参加型ビデオ会議対応リソースを使用して、幹部の間で仮想社内プロジェクトを始動できます。
3. 企業の顧客やビジネス パートナーは、ブラウザ上のビデオ会議を通してやりとりができます。

これらのシナリオはすべて、VPN を必要とせずにネットワーク外部の連絡先とセキュアなビデオ通話を受発信できる **Cisco Collaboration Edge アーキテクチャ**を活用することで実現します。各シナリオには、これらの B2B ビデオ コールを追加できます。

トポロジ

このデモンストレーションには、いくつかのエンタープライズ サーバ VM が含まれます。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連するスクリプトの手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. トポロジ概要

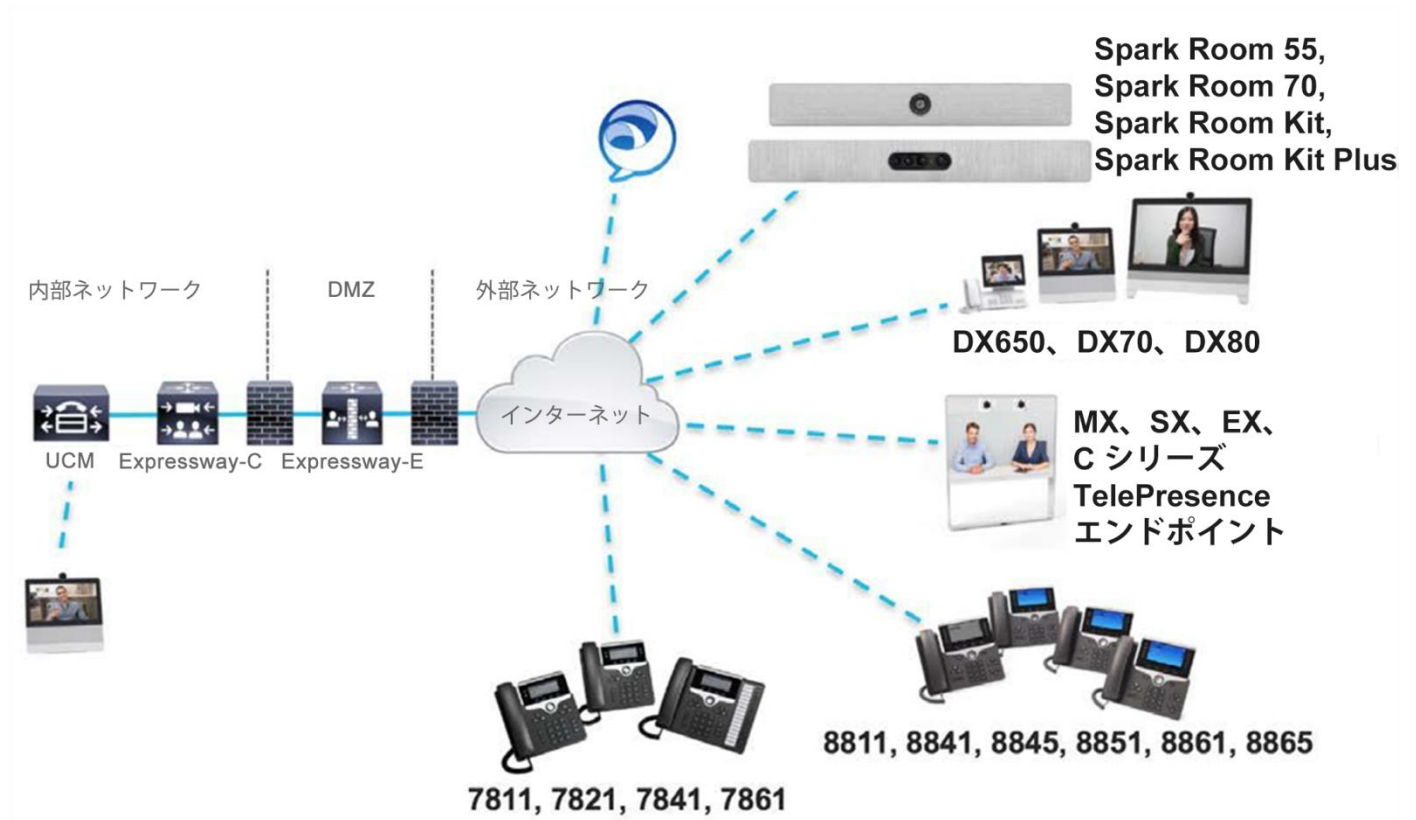


表 2. サーバ情報

アプリケーション	バージョン	URL	ユーザ名	パスワード
Microsoft Active Directory サーバ	2012 R2 Std	198.18.133.1	administrator	C1sco12345
Microsoft Exchange Server	2012 R2 Std	198.18.133.2	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite	15.6	https://tms1.dcloud.cisco.com/	DCLLOUD\administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Mgt Suite Extension for MS Exchange	5.6	https://tms1.dcloud.cisco.com/	DCLLOUD\administrator	C1sco12345
Cisco Expressway - C	X8.10.3	https://vcsc.dcloud.cisco.com/	admin	dCloud123!
Cisco Expressway - E	X8.10.3	https://vcse.(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com/	admin	dCloud123!
Cisco Prime Collaboration サーバ	11.6	https://cpc1.dcloud.cisco.com/	globaladmin	dCloud123!
Cisco Unified IM/Presence サーバ	12.0(1)	https://cup1.dcloud.cisco.com/	administrator	dCloud123!
Cisco Unified Communications Manager	12.0(1)	https://cucm1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Meeting Server	2.2.9	https://198.18.134.175:445	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Manager	1.0	https://cmm.dcloud.cisco.com	administrator	C1sco12345
Cisco Unity Connection サーバ	12.0(1)	https://cuc1.dcloud.cisco.com/	administrator	dCloud123!
Skype for Business 2015	2012 R2 Std	198.18.134.244	administrator	C1sco12345
VBrick Distributed Media Engine	3.17.1	https://198.18.135.47:8181/	admin	dCloud123!
VBrick Mongo DB	7.18	198.18.135.44	vbrick	dCloud123!
VBrick Elastic Search	7.18	198.18.135.45	vbrick	dCloud123!
VBrick HA Proxy ノード	7.18	198.18.135.43	vbrick	dCloud123!
VBrick Rev ノード	7.18	https://rev1.(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com/	dCloud\tbard	dCloud12345!
ワークステーション 1	Windows 10 Ent	198.18.1.36	DCLLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Workstation 2	Windows 10 Ent	198.18.1.37	DCLLOUD\aperez	dCloud12345!
Workstation 3	Windows 10 Ent	198.18.1.38	DCLLOUD\mcheng	dCloud12345!
Workstation 4	Windows 10 Ent	198.18.1.39	DCLLOUD\wwhitman	dCloud12345!

Collaboration Edge アーキテクチャの概要を以下に示します。パブリック インターネットからプライベートな社内ネットワーク通信サービスまでの情報フローをご確認ください。

図 2. Cisco Collaboration Edge アーキテクチャ

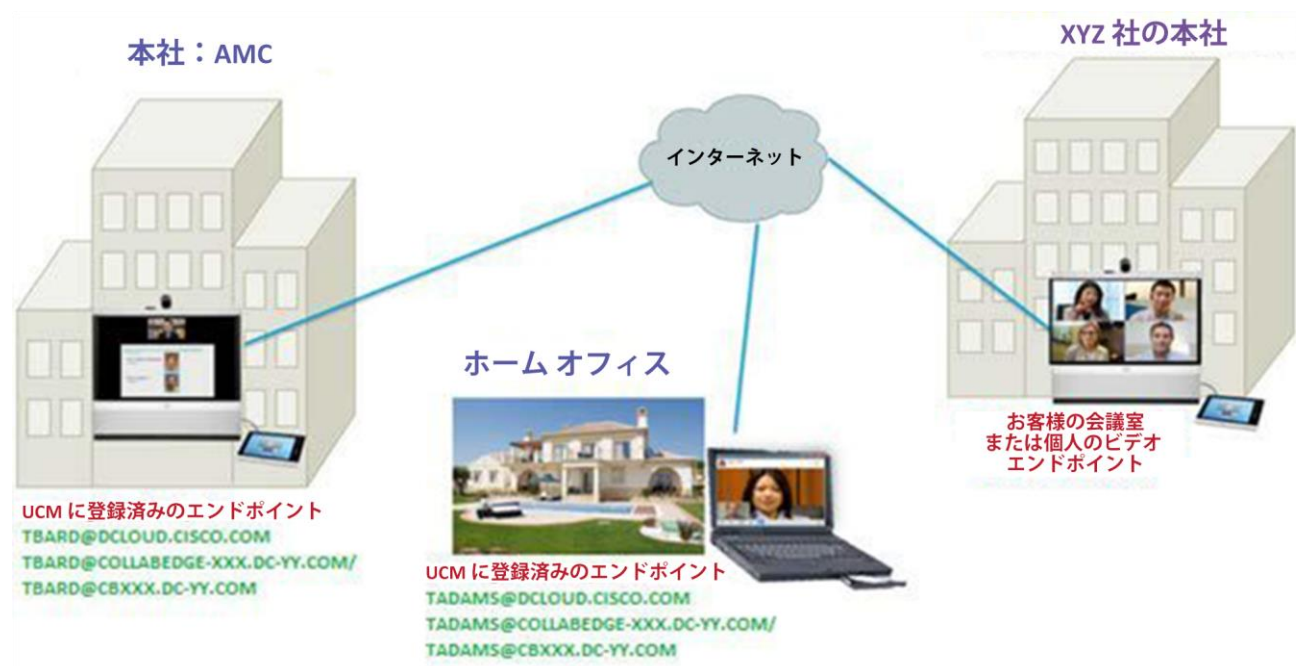


次の図は、各ユーザの場所を示しています。社内 LAN ユーザである外部コミュニケーション マネージャ、Taylor Bard は、このデモンストレーションでシミュレーションされている Atlas Motor Company (AMC) の本社にいます。AMC 社では、内部ドメイン **dcloud.cisco.com** と、パブリックでルーティング可能なドメインとして外部ドメイン (**collabedge- または cb**)**XXX.dc-YY.com** を使用しています。

MRA (モバイルおよびリモート アクセス) ユーザの Tanya Adams は、Atlas Motor Company の CEO で、遠隔勤務しています。Collaboration Edge を使用することで、インターネット環境下であれば、自宅などでもオフィスにいるときと同様に作業できます。

最後に、B2B (Business-to-Business) ユーザの Nichole Newton は、社外となるサプライ チェーン会社のオフィスにあり、ファイアウォールの外部から Collaboration Edge サーバを経由して会議に参加できます。このデモンストレーション ガイドの各シナリオには、各会議のコールフローを示す類似の図があります。

図 3. ロケーション別ユーザ



セッション ユーザ

表 3. 事前設定済みのユーザ情報

ユーザ名	ロール	ユーザ ID	パスワード	コール制御	エンドポイント デバイス	セルフプロビジョニング ID
Nichole Newton	外部企業のサプライ チェーン マネージャ			外部	dCloud UC に未登録の任意のビデオ エンドポイント。詳細については、B2B のセクションを参照してください。このユーザを好みのユーザと置き換えます。	該当なし
Tanya Adams	営業責任者	tadams	dCloud12345!	Cisco UCM	Cisco DX70 または DX80 を推奨	6024
Taylor Bard	イベント管理者	tbard	dCloud12345!	Cisco UCM	Cisco DX70 または DX80 を推奨	6025
Adam Mckenzie	プロジェクト マネージャ	amckenzie	dCloud12345!	Cisco UCM	Cisco DX70 または DX80 を推奨 ワークステーション 1 (Cisco Jabber for Windows 搭載)	6016
Anita Perez	セールス アカウント マネージャ	aperez	dCloud12345!	Cisco UCM	任意のシスコ ビデオ エンドポイント ワークステーション 2 (Cisco Jabber for Windows 搭載)	6017
Monica Cheng	シニア エンジニア	mcheng	dCloud12345!		Skype for Business クライアント搭載ワークステーション 3	該当なし
Walt Whitman	営業	wwhitman	dCloud12345!		Skype for Business クライアント搭載ワークステーション 4	該当なし

注:表 3 には、デモンストレーション ガイドとその説明における各ユーザのロールが示されています。このストーリーでは、使用可能なエンドポイント数に基づいて、別のロールを持ったユーザを追加することもできます。

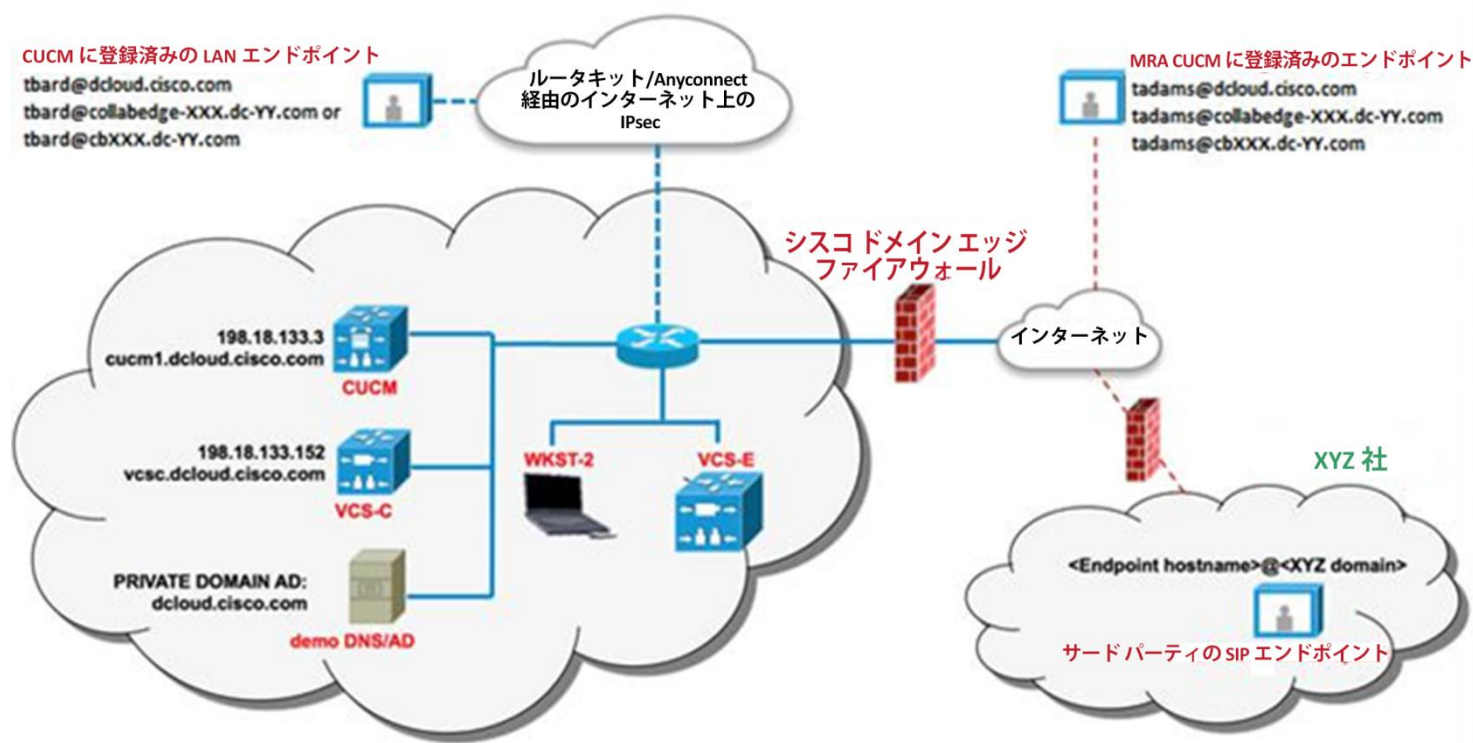
シミュレートされた AMC 社の各従業員は、社内 LAN 内では内部ドメインの **dcloud.cisco.com**、または MRA を介してリモートで作業している場合は外部ドメインの (**collabedge- または cb**)**XXX.dc-YY.com** のいずれかに、自身のコラボレーション エンドポイントを登録できます。

前述のとおり、このデモンストレーションでは、Tanya Adams と Taylor Bard の 2 人は AMC 社のエグゼクティブであり、Cisco Unified Collaboration アーキテクチャの MRA 機能を使用して、本社 LAN (Taylor) およびリモートの場所 (Tanya) に接続されています。

注:同時発生する多くの dCloud セッションでは、すべてのセッションに同じ内部ドメイン(**dcloud.cisco.com**)が必要で、これはパブリックにルーティング可能な (**collabedge- または cb**)**XXX.dc-YY.com** (各セッションに固有) に変換されます。これはベストプラクティスに完全には準拠していませんが、リソースの拡張性を最大限まで引き出しており、B2B や MRA 機能を含む、VCS Expressway の完全な機能セットを例示しています。

このデモンストレーションのアーキテクチャとユーザの場所を、以下の図に示します。

図 4. アーキテクチャとユーザ接続



はじめに

デモンストレーションの前に

実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、このプロセスを少なくとも 1 回は実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとデモンストレーションの構成に慣れることができます。

お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。

次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

注:セッションがアクティブになるまで最長で 45 分かかります。

2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **ラップトップに Cisco AnyConnect** をインストールし、dCloud ユーザ インターフェイスで表示される AnyConnect クレデンシャルを使用して、アクセスします。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)

注:このデモンストレーションを正常に実行するために、Cisco dCloud ルータの使用を推奨します。このルータを使用すれば、このデモンストレーションですべての端末とユーザを活用できます。Cisco dCloud ルータを使用しない場合は、シスコ ビデオ対応製品のデモンストレーションを行うのに十分な音声とビデオの品質が得られない場合があります。

5. **Cisco AnyConnect VPN** [\[手順を見る\]](#) および**ラップトップのローカル RDP クライアント** [\[手順を見る\]](#) を使用して、デモンストレーションワークステーションにラップトップを接続します。Cisco dCloud ルータの背後からセッションに接続する場合、AnyConnect VPN ではなくローカル RDP クライアントを使用してください。複数のラップトップを使用する場合は、各ワークステーションに 1 台ずつ接続します。
 - **ワークステーション 1** - IP アドレス: **198.18.1.36**、ユーザ名: **dcloud\amckenzie**、パスワード: **dCloud12345!**
 - Cisco Jabber は、デモンストレーションワークステーションに自動ログインします。自動ログインしない場合は、Cisco Jabber を閉じてから、デスクトップ上の **Cisco Jabber** アイコンをダブルクリックしてログインします。Skype for Business Presence のステータスが表示されていない場合、Cisco Jabber クライアントを再起動する必要があります。
 - **ワークステーション 2** - IP アドレス: **198.18.1.37**、ユーザ名: **dcloud\laperez**、パスワード: **dCloud12345!**
 - Cisco Jabber は、デモンストレーションワークステーションに自動ログインします。自動ログインしない場合は、Cisco Jabber を閉じてから、デスクトップ上の **Cisco Jabber** アイコンをダブルクリックしてログインします。Skype for Business Presence のステータスが表示されていない場合、Cisco Jabber クライアントを再起動する必要があります。
 - **ワークステーション 3** - IP アドレス: **198.18.1.38**、ユーザ名: **dcloud\mcheng**、パスワード: **dCloud12345!**
 - Skype for Business は、デモンストレーションワークステーションに自動ログインします。自動ログインしない場合は、Skype クライアントを閉じてから、クイック起動バーの **Skype for Business** アイコンをクリックしてログインします。
 - **ワークステーション 4** - IP アドレス: **198.18.1.39**、ユーザ名: **dcloud\wwhitman**、パスワード: **dCloud12345!**
 - Skype for Business は、デモンストレーションワークステーションに自動ログインします。自動ログインしない場合は、Skype クライアントを閉じてから、クイック起動バーの **Skype for Business** アイコンをクリックしてログインします。

注: デモンストレーションガイドに明記されているように、リモートワークステーション 2 のみを使用することを強く推奨します。ワークステーション 2 に不適切な設定変更やソフトウェアインストールがある場合は、セッション障害が発生する可能性があります。

6. Collaboration Edge 機能がセッションで正しくプロビジョニングされていることを確認します。

- ワークステーション 1 から IE ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Expressway - C] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示されるすべてのセキュリティメッセージを受け入れます。
- [構成(Configuration)] > [ゾーン(Zones)] > [ゾーン(Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアントゾーンの設定詳細情報で SIP ステータスが [アクティブ(Active)] と表示されていることを確認します。DefaultZone で SIP ステータスは [オン(ON)] と表示されます。

注: これらのゾーンの SIP ステータスが [アクティブ(Active)] でない場合は、セッションに障害が発生しており、先へ進むことはできません。現在のセッションを終了し、新しいセッションを開始してください。これは、自動化エラーが原因で起こることがあります。

図 5. ゾーン ステータス

Name	Type	Calls	Bandwidth used	H323 status	SIP status	Proxied Registrations	Search rule status	Actions
DefaultZone	Default zone	0	0 kbps	On	On	-	-	View/Edit
CEIco-cucm1.dcloud.cisco.com	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules 1	View/Edit
Cisco Meeting Server	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules 5	View/Edit
CUCM Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	-	Enabled search rules 2	View/Edit
Cup Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules 2	View/Edit
Skype4b FE	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules 2	View/Edit
VCS-E for B2B video Traversal client	Traversal client	0	0 kbps	Off	Active	-	Enabled search rules 2	View/Edit
VCS-E for MRA	Unified Communications traversal	0	0 kbps	Off	Active	0	No search rules configured	View/Edit

注: このガイドを説明どおりに実行するには、表 3 に記載されている端末が 3 台以上必要です。少なくとも、Tanya Adams (MRA) と Taylor Bard (LAN) に 1 台ずつ、合計 2 台の Cisco UCM 端末を登録し、Nichole Newton (B2B) に割り当てられるサードパーティドメインに登録済みのエンドポイントを 1 つ以上特定する必要があります。

- MRA(モバイルおよびリモート アクセス)エンドポイント**をプロビジョニングします。このデバイスは、ホーム オフィスまたはその他のリモートの作業場所やモビリティ ロケーションから会議コールに接続しています。このロールは、Atlas Motor Company (AMC) 社の営業主任の **Tanya Adams (内線 6024)** に割り当てられます。彼女が使用可能な端末は、**Cisco TelePresence DX70/DX80**、**Cisco IP Phone 8845/8865**、または **Cisco Jabber** がインストールされているモビリティ端末です。[手順を見る]
- 社内 LAN エンドポイント**をプロビジョニングします。この端末は、オフィスの所在地で、社内ネットワーク内から会議通話に接続しています。このロールは Atlas Motor Company (AMC) 社のコミュニケーション マネージャの **Taylor Bard (内線 6025)** とプロジェクト マネージャの **Adam McKenzie (内線 6016)** に割り当てられています。彼らは、ビデオ対応のエンドポイントを使用できます。Cisco Unified Communications Manager のセルフプロビジョニング機能を使用して、電話をプロビジョニングします [手順を見る]。
表 3 に記載の内線番号を使用します。

9. **シナリオ 2 に必須: TMS でルーム システムを見つけます:** シスコでは、お客様向けプレゼンテーションのために、各地に物理的な会議室を確保しています。次に示すいずれかの場所でプレゼンテーションを行うかのようにこのデモンストレーションを実行する場合、エンドポイントを会議室自体に割り当てて、会議室の電話と同様に扱うことができます。これは、セッションに使用する物理的な会議室の**仮想インスタンス**です。デバイスを Cisco dCloud ルータに接続し、次の表に記載したセルフプロビジョニング ID を使用して、上記のセルフプロビジョニング手順に従います。[\[手順を見る\]](#) [英語]

表 4. 事前設定された会議室の電話

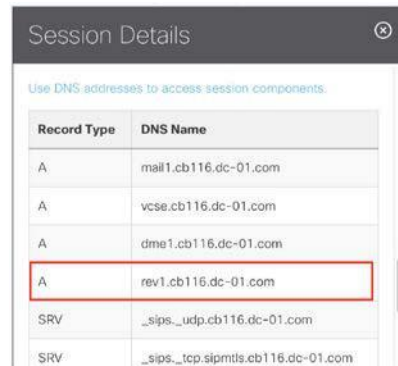
データセンター	会議室の場所	デバイス名/ユーザ名	電話番号	セルフプロビジョニング ID
Americas	New York - George Washington Bridge	USANYC	+19725556051	6051
Americas	RTP - Little House on the Prairie	USARTP	+19725556052	6052
Americas	SJC - Johnnie Walker	USASJC	+19725556053	6053
Americas	Toronto - NIPISSING	CANTOR	+19725556054	6054
Americas	Vancouver - Hornby	CANVAN	+19725556055	6055
EMEAR	London - Picadilly	UKLON	+19725556056	6056
EMEAR	Berlin - Brandenburger	GERBER	+19725556057	6057
EMEAR	Dublin - Galway	IREDub	+19725556058	6058
EMEAR	Stockholm - Berzelius	SWESKM	+19725556059	6059
EMEAR	Madrid - Mulhacen	SPAMAD	+19725556060	6060
APJC	Singapore - Outram Park	SINORP	+19725556061	6061
APJC	Beijing - Great Wall	CHIBJG	+19725556062	6062
APJC	Shanghai - Gui Zhi Xiang	CHISHG	+19725556063	6063
APJC	Tokyo Rhode Island	JAPTOK	+19725556064	6064

10. **シナリオ 1 に必須: B2B(ビジネス ツー ビジネス)エンドポイントのドメインを有効にします。**この端末は、別の会社のオフィスより、社内ネットワークを使用して会議に接続しています。このロールは、Nichole Newton に割り当てられます。このエンドポイント デバイスは dCloud Cisco Unified CM に登録されていないため、インターネットを介して SIP コールを受発信できる場合に限り、**使用可能な任意のエンドポイント デバイス**を使用できます。[\[手順を見る\]](#)。お客様のビデオ インフラストラクチャが B2B コールをサポートしていない場合のバックアップ オプションとして、「[手順を見る](#)」ガイドの B2B エンドポイントの中から複数の異なる B2B エンドポイントを設定しておくことを推奨します。
11. **必須:** Distributed Media Engine 上で VBrick Rev の URL を変更して、デモに割り当てられているダイナミック DNS エントリが使用されるようにします。
- ワークステーション 1 から、Internet Explorer の新しいタブを開きます。[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] ドロップダウン メニューから、[VBrick Distributed Media Engine - DME] を選択します。
 - ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。

- [システム設定 (System Configuration)] に移動して、[Revインターフェイス (Rev Interface)] を選択します。[Rev設定 (Rev Configuration)] セクション内で、[Rev] を変更します。

サーバ URL:

- <https://rev1.dcloud.cisco.com> から [https://rev1.\(collabedge- または cb\)XXX.dc YY.com](https://rev1.(collabedge- または cb)XXX.dc YY.com) に変更します。
- 新しい DNS 名が [セッションの詳細 (Session Details)] 内に表示されます。



Record Type	DNS Name
A	mail1.cb116.dc-01.com
A	vcse.cb116.dc-01.com
A	dme1.cb116.dc-01.com
A	rev1.cb116.dc-01.com
SRV	_sips._udp.cb116.dc-01.com
SRV	_sips._tcp.sipmts.cb116.dc-01.com

- [適用 (Apply)] をクリックしてから [OK] をクリックし、Rev インターフェイスを再起動して変更を適用します。

12. **オプション:** デモンストレーションにカスタム ユーザを追加します。これは、プレゼンテーションの対象者であるお客様と同じ名前のユーザを作成する場合に便利です。[[手順を見る](#)]

- 端末および電話回線をこのユーザのボイスメール サービスとともにプロビジョニングするには、**拡張エンドポイント サービス**のガイドに従ってください。[[手順を見る](#)]
- デバイスと電話回線をボイスメールなしでプロビジョニングするには、**エンドポイント サービス**のガイドに従ってください。[[手順を見る](#)]

13. お客様に向けてデモを行う前に、LAN、MRA、B2B エンドポイント間のポイントツーポイント コールをすべてテストします。

注: このデモンストレーション セッションを保存する場合は、[付録 A](#) の手順に従ってください。保存によって Collaboration Edge 証明書が他のユーザに公開されるため、保存は、必ずセッションを終了した後に実行するようにしてください。

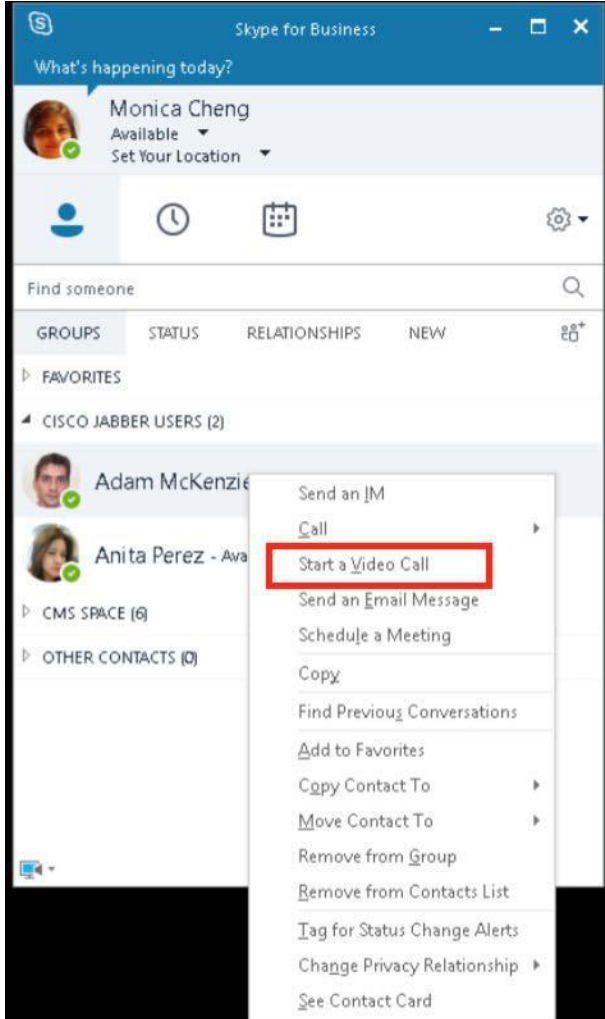
シナリオ 1: Microsoft Skype for Business による、デュアル ホームを使用したアドホック会議

次のシナリオでは、シスコ製品を利用する場合に、Microsoft Skype for Business のユーザと TelePresence のユーザの双方で、ユーザエクスペリエンスとワークフローを維持する方法について説明します。これは、Cisco Meeting Server を使用して、2 つの環境を接続することで実現します。このような会議を**デュアル ホーム**会議と呼んでいます。この名前は、Cisco Meeting Server が会議を仲介して Skype for Business (S4B) と Cisco Unified Communications サーバの双方からダイヤルするユーザをまとめることに由来しています。

デモンストレーションの手順

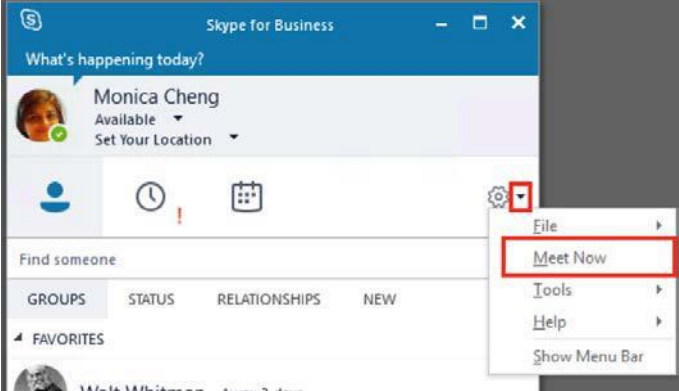
手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。Monica Cheng です。Atlas Motor Company (AMC) 社のシニア エンジニアです。私は、Microsoft Skype for Business (S4B) 2015 を使用して、社内外の同僚とコミュニケーションを取っています。</p> <p>水素燃料車の Talos を、来週の再生可能エネルギー会議で発表します。発表会までにまとめることがたくさんあるので、シスコの統合型ビジネス オンプレミス ビデオ ソリューションを活用して 1 日の仕事を合理化して早く終わらせ、製品発表会の成功を目指しています。</p> <p>昨晚、プロダクト マネージャの Adam McKenzie からメッセージを受け取りました。さまざまな地域の担当者との緊急会議を開きたいという内容で、TelePresence に対応した会議室を使用するとのことでした。</p> <p>私はこの多くの人が参加する会議の準備をしようと思うのですが、とりにそぎ Adam に電話をかけ、彼の望む要件や目標について話し合おうと思います。</p>	<p>ワークステーション 3 で (Monica Cheng として)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未接続の場合は、ユーザ名 : dcloud\mcheng およびパスワード : dCloud12345! を使用して、198.18.1.38 のワークステーション 3 にログインします。 ログインすると、Skype for Business が自動ログインして、すぐに使える状態になります。 <p>注: Microsoft Skype for Business を使用可能にするには、まず、Active Directory と同期させる必要があります。これには、2 ~ 3 分ほどかかります。同期が完了すると、S4B クライアントの右下隅に表示されていた [] アイコンが消えます。</p> <p>また、このデモンストレーションでは、Monica の使用する Skype for Business クライアントに、ローカルの PC/Mac に最初からインストールされているものを使うことをお勧めします。予備のラップトップがない場合は、ワークステーション 3 の S4B クライアントを使用できます。</p>

手順	説明の要点	操作
2	<p>こんにちは。私は Adam McKenzie です。Atlas Motor Company (AMC) 社のプロダクト マネージャです。私は社内外の同僚とコミュニケーションを取る際に、Cisco Jabber をビデオ対応ソフトウェア エンドポイント クライアントとして使っています。</p> <p>Monica Cheng は、Talos 新発売プロジェクトを担当しているシニア エンジニアです。彼女には、いくつかの技術的な問題について、最新の情報を提供するように依頼しており、</p> <p>会議で対処すべき重要なポイントについて話し合うため、今日の午前中に通話が入ることになっています。</p>	<p>ワークステーション 1 で (Adam McKenzie として)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未接続の場合は、ユーザ名: dcloud\lamckenzie およびパスワード: dCloud12345! を使用して、198.18.1.36 のワークステーション 1 に RDP します。 ログインすると、Cisco Jabber for Windows クライアントが自動ログインして、すぐに使える状態になります。 <p>注: このデモンストレーションでは、Adam 用に Cisco DX、SX、または 88X5 端末などの物理エンドポイントを使用することをお勧めします。使用可能な物理デバイスがない場合は、ワークステーション 1 で Jabber for Windows を使用できます。Jabber for Windows の使用中は、Monica Cheng の IM and Presence ステータスについては無視してください。これはこのデモンストレーションで取り扱う対象には含まれていません。</p> <p>ワークステーション 4 で (Walt Whitman として)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未接続の場合は、ユーザ名: dcloud\wwhitman およびパスワード: dCloud12345! を使用して、198.18.1.39 のワークステーション 4 に RDP します。 ログインすると、Skype for Business クライアントが自動ログインして、すぐに使える状態になります。

手順	説明の要点	操作
3	<p>Monica Cheng として: 今日の午前中に Adam と話すことになっています。 準備ができたので、Skype for Business でビデオ通話を開始します。</p>	<p>ワークステーション 3 で (Monica Cheng として)</p> <ul style="list-style-type: none"> Monica の Skype for Business の [連絡先 (Contacts)] リストで、[Cisco Jabberユーザ (Cisco Jabber Users)] がまだ展開されていない場合は、展開します。 [Adam Mckenzie] の連絡先を右クリックします。 リストから [ビデオ通話を開始 (Start a Video Call)] オプションを選択します。  <p>The screenshot shows the Skype for Business interface. At the top, it says 'What's happening today?' and 'Monica Cheng Available'. Below that is a search bar and tabs for 'GROUPS', 'STATUS', 'RELATIONSHIPS', and 'NEW'. Under the 'GROUPS' tab, there are sections for 'FAVORITES' and 'CISCO JABBER USERS (2)'. The 'CISCO JABBER USERS (2)' section is expanded, showing 'Adam McKenzie' and 'Anita Perez - Ava'. A context menu is open over 'Adam McKenzie', and the 'Start a Video Call' option is highlighted with a red rectangle.</p>

手順	説明の要点	操作
4	<p>Adam McKenzie として: 依頼していた最新情報について、Monica と話すことになっています。会議に招待してほしい出席者の一覧など、ある程度の準備は完了しています。</p> <p>Monica から着信があったので、[応答 (Answer)] をクリックします。</p> <p>会議の最中、彼女には同僚のサポートも必要になるでしょうから、今回の通話には、Walt にも加わってもらっています。</p>	<p>ワークステーション 1 で (Adam McKenzie として)</p> <ul style="list-style-type: none"> Monica からの通話が着信したら、[応答 (Answer)] をクリックします。Cisco UC 端末を利用している場合は、必ずこの物理端末で通話に応答してください。通話を切断しないようにしてください。 <p>ワークステーション 3 で (Monica Cheng として)</p> <ul style="list-style-type: none"> Monica の Skype for Business クライアントで、Adam と Monica のステータスがどちらも [通話中 (In a Call)] に変わっていることを確認してください。この時点での通話の参加者は 2 人です。  <ul style="list-style-type: none"> Monica の [連絡先 (Contact)] リストで、[お気に入り (Favorites)] がまだ展開されていない場合は、展開します。 [Walt Whitman] にポインタを合わせ、強調表示された状態にします。クリックしたままドラッグし、その連絡先を会話ウィンドウにドロップします。

手順	説明の要点	操作
5	<p>Walt Whitman として:</p> <p>Walt に Monica からの通話が着信します。Walt はクリックしてビデオで通話に応答します。</p> <p>応答するとすぐに、他の参加者と共にアドホック会議に参加していることがわかります。</p> <p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Skype for Business デバイスと Cisco UC 端末の間で、シームレスにビデオ通話を実施し、デスクトップ表示を共有できます。どの操作も、両方のユーザが同じクライアントを使っているかのように簡単に行うことができます。 Cisco TelePresence Systems が、Skype for Business ユーザとのシームレスなコラボレーションを実現します。具体的には、名簿、会議制御、データプレゼンテーションの共有が挙げられます。 	<p>ワークステーション 4 で(Walt Whitman として)</p> <ul style="list-style-type: none"> Monica からの通話が着信したら、カメラのアイコンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> Monica、Adam、Walt は現在アドホック会議の最中です。 <p>(オプション) 通話中のデータ共有:</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 3 または 4: S4B ユーザは、[コンテンツの共有 (Share Content)] ボタン(またはモニタ ボタン)をクリックしてから、[デスクトップの共有 (Share your Desktop)] または[ウィンドウの共有 (Share a Window)] を選択することができます。  <ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 3/4 での共有を停止します。ワークステーション 1: [Jabber] ウィンドウのボタンをクリックし、[画面の共有 (Screen Share)] を選択します。 TelePresence エンドポイントからのビデオ ケーブルをプレゼンテーション用のラップトップに接続し、[PC の表示 (View PC)]、[共有 (Share)] の順に選択します。この PC 接続を使用して PC のドキュメントを会議スペースに表示します。 Cisco Jabber および S4B クライアントでのすべての通話を終了します。



手順	説明の要点	操作
6	<p>オプションのステップ:</p> <p>Monica は、ラボで業者と話をする前にチームで話し合うべき項目がもう 1 つあると感じています。</p> <p>そこで、Skype for Business クライアントの [今すぐミーティング (Meet Now)] オプションを使用して会議を作成し、Adam と Walt に会議への参加を呼びかけます。</p> <p>彼女は補足の質問をして、簡単にチームの意見を聞きます。その後、参加者はそれぞれ自分の業務に戻ります。</p>	<p>ワークステーション 3 で (Monica Cheng として)</p> <ul style="list-style-type: none"> (オプション) Skype for Business クライアントで [メニューを表示 (Show Menu)] アイコンをドロップダウンし、[今すぐミーティング (Meet Now)] を選択します。  <ul style="list-style-type: none"> Monica が自分の会議に参加します。表示されている参加者は Monica だけです。 Monica の Skype for Business の [連絡先 (Contacts)] リストで、[Cisco Jabberユーザ (Cisco Jabber Users)] がまだ展開されていない場合は、展開します。 [Adam McKenzie] にポインタを合わせ、強調表示された状態にします。クリックしたままドラッグし、その連絡先を会話ウィンドウにドロップします。 ワークステーション 1 で、Monica からの通話が着信したら [応答 (Answer)] をクリックします。 ワークステーション 3 で、Monica の [連絡先 (Contact)] リストの [お気に入り (Favorites)] がまだ展開されていない場合は、展開します。 [Walt Whitman] にポインタを合わせ、強調表示された状態にします。クリックしたままドラッグし、その連絡先を会話ウィンドウにドロップします。 ワークステーション 4 で、Monica からの通話に応答します。 終わったら、すべてのクライアントの通話を終了します。

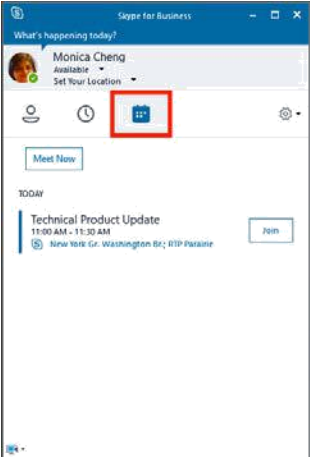
シナリオ 2: Microsoft Skype for Business 2015 と Cisco Unified Communications によるデュアル ホーム ビデオ エクスペリエンス

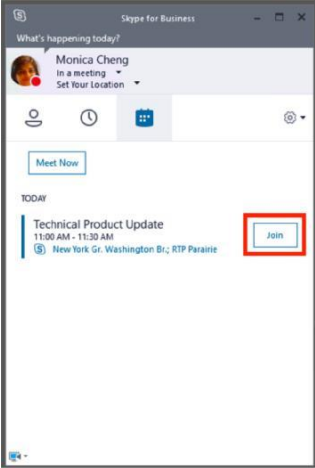
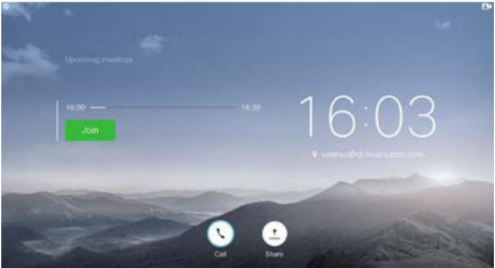
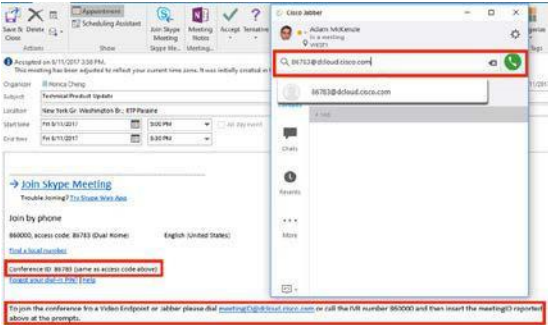
次のシナリオでは引き続き、シスコ製品を利用する場合に、Microsoft Skype for Business のユーザと TelePresence のユーザの双方で、ユーザ エクスペリエンスとワークフローを維持する方法について説明します。これは、Cisco Meeting Server を使用して、2 つの環境を接続することで実現し、TelePresence Management Suite (TMS) と TelePresence Management Suite Exchange Extension (TMS XE) で、スケジューリングおよび電子メールの統合を行います。Cisco TelePresence ソリューションが提供するハイエンドの音声と HD 品質のビデオは、今日の市場では類を見ないコラボレーション体験をもたらします。

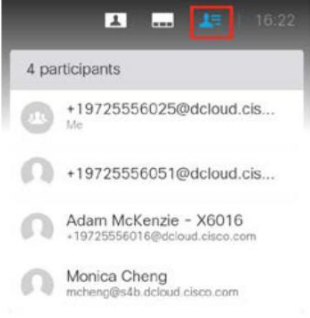
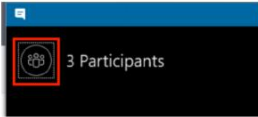
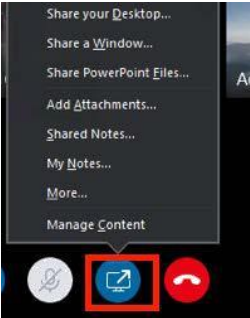
デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。Monica Cheng です。Atlas Motor Company (AMC) 社のシニア エンジニアです。私は、Microsoft Skype for Business (S4B) 2015 を使用して、社内外の同僚とコミュニケーションを取っています。</p> <p>昨夜、プロダクト マネージャの Adam McKenzie からメッセージを受け取りました。さまざまな地域の担当者との緊急会議を開きたいという内容で、TelePresence に対応した会議室を使用することでした。</p>	<p>ワークステーション 3 で (Monica Cheng として)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未接続の場合は、ユーザ名 : dcloud\mcheng およびパスワード : dCloud12345! を使用して、198.18.1.38 のワークステーション 3 に RDP します。 ログインすると、Microsoft Skype for Business 2015 が自動的に開いてログインし、すぐに使える状態になります。

手順	説明の要点	操作																																																																											
2	<p>Monica が会議をスケジュールリングします。参加者は、自分自身(S4B ユーザ)、Adam McKenzie(Jabber ユーザ)、TelePresence に対応した会議室を使用する各地の担当者です。彼女は Outlook を開き、新しいアポイントメントを作成します。</p> <p>Microsoft ユーザが会議をスケジュールリングするには、Outlook に表示されるボタンをクリックします。S4B がインストールされている場合には、このボタンが有効になります。Microsoft ユーザであれば、通常はこのボタンをクリックするだけで Skype 会議を行うことができます。そして、便利なことに、シスコのソリューションで統合を行う場合にも同じ操作で会議を開くことができます。システムに通話への参加やワンボタン機能の使用を許可する場合にも、参加者や会議室を追加すると同じ要領で、ルーム システムのメールボックスを招待に追加するだけで済みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 3 で、タスクバーから Outlook 2016 を起動します。起動したら、カレンダーをクリックします。 メインメニューで、[新規項目 (New Items)] > [会議 (Meeting)] の順にクリックします。 [宛先..(To..)] フィールドに、[Adam McKenzie (amckenzie)] と、他の TelePresence での参加者を追加します。  オプションをクリックします。 [はじめに] の手順の際に、TM と TMS XE でプロビジョニングおよびセットアップした会議室を、ポップアップ ウィンドウ内で強調表示します。 [会議室 (Rooms)] をクリックし、続いて [OK] をクリックします。 <table border="1" data-bbox="841 890 1503 1264"> <thead> <tr> <th>Name</th> <th>Location</th> <th>Business Phone</th> <th>Capacity</th> <th>Descrip</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Beijing Great Wall</td><td></td><td>\+19725556062</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Berlin Brandenburger</td><td></td><td>\+19725556057</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Dublin Galway</td><td></td><td>\+19725556058</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>London Picadilly</td><td></td><td>\+19725556056</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Madrid Mulhacen</td><td></td><td>\+19725556060</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>New York Gr. Washington Br.</td><td></td><td>\+19725556051</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>RTP Parairie</td><td></td><td>\+19725556052</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>San Jose Jominie Walker</td><td></td><td>\+19725556053</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Shanghai Gui Zhi Xiang</td><td></td><td>\+19725556063</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Singapore Outram Park</td><td></td><td>\+19725556061</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Stockholm Berzelius</td><td></td><td>\+19725556059</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Tokyo Rhode Island</td><td></td><td>\+19725556064</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Toronto Nipissing</td><td></td><td>+19725556054</td><td></td><td>Room</td></tr> <tr><td>Vancouver Horby</td><td></td><td>\+19725556055</td><td></td><td>Room</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> [件名 (Subject)] に Technical Product Update と入力します [開始時刻 (Start Time)] を設定します。自身のラップトップではなく、ワークステーション 3 の時刻を基準にして、現在の時刻を開始時刻として設定します。終了時刻は、開始時刻の 30 分後 (デフォルト) のままにしておきます。  ボタンをクリックします。これで、会議への招待が作成されます。新しい会議への出席依頼のリンクなど、Skype for Business の会議情報が表示されます。なお、メールのフッターには、ビデオ システムから通話に参加する方法について記載されています。 [送信 (Send)] をクリックします。 会議がスケジュールリングされます。会議室および TMS XE からの確認メールが Monica に届きます。 	Name	Location	Business Phone	Capacity	Descrip	Beijing Great Wall		\+19725556062		Room	Berlin Brandenburger		\+19725556057		Room	Dublin Galway		\+19725556058		Room	London Picadilly		\+19725556056		Room	Madrid Mulhacen		\+19725556060		Room	New York Gr. Washington Br.		\+19725556051		Room	RTP Parairie		\+19725556052		Room	San Jose Jominie Walker		\+19725556053		Room	Shanghai Gui Zhi Xiang		\+19725556063		Room	Singapore Outram Park		\+19725556061		Room	Stockholm Berzelius		\+19725556059		Room	Tokyo Rhode Island		\+19725556064		Room	Toronto Nipissing		+19725556054		Room	Vancouver Horby		\+19725556055		Room
Name	Location	Business Phone	Capacity	Descrip																																																																									
Beijing Great Wall		\+19725556062		Room																																																																									
Berlin Brandenburger		\+19725556057		Room																																																																									
Dublin Galway		\+19725556058		Room																																																																									
London Picadilly		\+19725556056		Room																																																																									
Madrid Mulhacen		\+19725556060		Room																																																																									
New York Gr. Washington Br.		\+19725556051		Room																																																																									
RTP Parairie		\+19725556052		Room																																																																									
San Jose Jominie Walker		\+19725556053		Room																																																																									
Shanghai Gui Zhi Xiang		\+19725556063		Room																																																																									
Singapore Outram Park		\+19725556061		Room																																																																									
Stockholm Berzelius		\+19725556059		Room																																																																									
Tokyo Rhode Island		\+19725556064		Room																																																																									
Toronto Nipissing		+19725556054		Room																																																																									
Vancouver Horby		\+19725556055		Room																																																																									

手順	説明の要点	操作
3	<p>すべての参加者が、それぞれの端末で招待を受け取ります。</p> <p>Cisco TMS アプリケーションは、会議室のメールボックスを監視します。S4B ブッキングが見つかったら、依頼者 (Monica) に確認メールが送信され、TelePresence Systems に参加可能であることが伝えられます。この確認メールには、通話に参加するための他の方法も含まれており、標準の SIP 端末からであれば、すべての端末でリンクがクリックできる状態になっています。なお、S4B ブッキングの場合にはこのようなリンクはありません。</p>	<p>各端末からの会議招待:</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議室のビデオ エンドポイント: 会議の開始時刻前に、今後開催される会議の通知が会議室のディスプレイ/タッチ パネルに表示されます。また、会議に参加する時刻も通知されます。  <ul style="list-style-type: none"> Monica には確認メールが届きますが、S4B クライアント内でスケジュール済みのミーティングを確認することもできます。  <ul style="list-style-type: none"> Adam McKenzie も会議への招待メールを受け取ります。メールには、会議に参加するための方法がすべて記載されています。また、他の参加者に転送することも可能です。 

手順	説明の要点	操作
4	<p>会議の開始時刻になりました。すべての参加者がそれぞれの端末で招待を受け取っており、会議に参加できるようになっています。</p> <p>Monica Cheng の S4B クライアント:</p> <p>Monica は、自身のクライアントの [会議(meeting)] タブ内にある [参加(Join)] ボタンをクリックすることにより、簡単に会議に参加できます。ビデオが有効になっていますが、通常の S4B 通話で話す際と特に変わりはありません。</p> <p>会議室:</p> <p>会議に参加する従業員は、入室してワンボタン(OBTP)機能を使用することができます。タッチパネルまたは画面の緑色のボタンを押すと、通話への参加が認められます。会議室のビデオ エンドポイントから会議に直接接続する、非常にシンプルで簡単な方法です。</p> <p>Adam McKenzie の Jabber クライアント:</p> <p>Adam は、自分のカレンダーで招待またはリマインダを開く必要があります。招待には、会議に参加するための選択肢がいくつか記載されています。IVR にダイヤルして会議 ID を入力するか、meetingID@cisco.com にダイヤルします。</p> <p>すべての参加者に、すぐに Monica からのビデオ通話が表示されます。分割表示形式で特に違和感もなく、普段と同じ感覚で利用できます。</p> <p>状況によっては、他のビデオ システムから通話に参加することもあります。当初の招待に含まれていなかった場合や、OBTP をサポートしていない場合などです。そのような時には、メインの会議番号をダイヤルして、S4B の会議 ID を入力します。これは S4B メールに記載されている会議 ID と同じです。つまり、S4B のユーザと TelePresence ユーザの双方に共通の操作となり、いずれのユーザも通話に参加することができます。また、8865 電話機で SIP ソフト クライアントを使用している場合には、TelePresence の確認メール内にあるリンクをクリックするか、S4B の会議 ID を SIP アドレス (MeetingID@companydomain など) としてダイヤルすることができます。</p>	<p>各自の端末から会議に参加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Monica の S4B クライアント:[参加(Join)] ボタンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> 会議室のビデオ エンドポイント:[参加(Join)] ボタンをクリックします。  <p>Adam の Jabber クライアント:</p> <ul style="list-style-type: none"> カレンダーで会議の招待を開きます。指示に従って、SIP エンドポイントから会議にダイヤルします。 Cisco Jabber(または Cisco UC 端末)を使用して 860000 にダイヤルします。プロンプトが表示されたら会議 IDを入力し、続いて #を入力します。  <ul style="list-style-type: none"> もしくは、<a href="mailto:<conference ID>@dcloud.cisco.com"> <conference ID>@dcloud.cisco.com にダイヤルして直接、会議に接続することもできます。

手順	説明の要点	操作
5	<p>会議中は、次のような機能を利用して、会議を管理することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TelePresence ユーザと S4B ユーザは、すべての参加者が含まれた名簿を見ることができます。 • TelePresence ユーザは、アクティブ コントロールを使用して、普段と同様にレイアウトを変更できます。S4B ユーザは、ギャラリーからアクティブ スピーカーに変更することができます。 • ビデオ システムを連絡先またはお気に入りしている S4B ユーザは、それをドラッグして通話にドロップすることができます。 • それぞれのユーザが普段行う方法で、データの共有を行うことができます。S4B ユーザの場合は、共有画面またはアプリケーションをクリックします。これは普段と同様に、別のウィンドウで他の S4B ユーザに送信されます。また、プレゼンテーションソースとして TP システムにも送信されるので、必要に応じて別画面として表示することが可能です。そして、これは S4B ユーザから可能な限りではありません。TP ユーザの場合は、Proximity を使用したり、ケーブルをつないだりして、PC 画面を共有することができます。共有された画面は S4B ユーザにも送信され、S4B ユーザ間で送信されたものと同様に、別ウィンドウとして表示されます。 <p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> • S4B ユーザは、他の会議と同じ要領で通話をスケジューリングすることができます。プラグインは必要なく、特に変更することはありません。 • ビデオ システムが OBTP を受信することで、簡単に通話に参加できます。 • 会議 ID が全員に共通であるため、混乱しません。 • WebRTC ゲストを含むすべての端末が、容易に会議に参加できます (MS では不可)。 • 誰もが普段と同様に利用できるため、プロセスの変化に伴う混乱を心配する必要がありません。 • Cisco TelePresence Systems により、Skype for Business ユーザとのコラボレーションが実現し、名簿、会議制御、データプレゼンテーションなどをシームレスに共有することができます。 	<p>参加者全員の名簿:</p> <ul style="list-style-type: none"> • TelePresence エンドポイント: 右上隅にあるアイコンをクリックします。参加者全員のリストが表示されます。  <ul style="list-style-type: none"> • S4B ユーザ: 会話ウィンドウ内で、参加者の横にあるアイコンをクリックして、リストを表示します。会議から参加者をミュートしたり、削除したりすることができます。  <p>通話中のデータ共有:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークステーション 3 の S4B ユーザの場合、[コンテンツの共有 (Share Content)] ボタン (またはモニタ ボタン) をクリックしてから、[デスクトップの共有 (Share your Desktop)] または [ウィンドウの共有 (Share a Window)] をクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> • ワークステーション 1 で、[Jabber] ウィンドウの 3 つのドットをクリックし、[画面の共有 (Screen Share)] を選択します。 • オプション: TelePresence エンドポイントからのビデオ ケーブルをプレゼンテーション用のラップトップに接続し、[PC の表示 (View PC)]、[共有 (Share)] の順に選択します。この PC 接続を使用して PC のドキュメントを会議スペースに表示します。 • TelePresence 端末およびクライアントでのすべての通話を終了します。

付録 A: デモンストレーションの保存

セッションのカスタム バージョンを保存するには、次の手順に従う必要があります。

デモ セッションごとに、パブリックにルーティング可能な IP アドレスが動的に割り当てられるため、デモを保存して新しいインスタンスを起動すると、以前取得したものと異なるドメインおよび IP が割り当てられます。そのため、デモンストレーションを保存するたびに下記の手順を繰り返す必要があります。この手順は、Collaboration Edge 関連の設定をリセットし、デモンストレーションを正しく保存できるよう準備するために実行する必要があります。

重要: 下記の手順に従わなかった場合は、保存されたデモンストレーションが破損し、Collaboration Edge 機能が動作しなくなります。このようなシナリオでは、保存されたデモンストレーションを修復できず、変更やカスタマイズがすべて失われます。

注: ワークステーション 2 を変更した場合、その変更がデモンストレーション ガイドに記載されている内容以外の場合は、保存プロセスが失敗する可能性があります。このような原因で破損したセッションは回復不能です。

- ローカルの RDP プログラムまたは Cisco dCloud リモート デスクトップ クライアントを使用して、デモンストレーションのワークステーション 2 (198.18.1.37) にアクセスします [手順を見る]。ユーザ名: **dcloud\laperez**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。
- CMD コンソール ウィンドウを開き、**ResetCerts** と入力します。
- Collab Edge 証明書のリセットには 15 ~ 20 分かかります。プロセスが終了するまで何も行わないでください。特にスクリプトが完了するまでは、ワークステーション 2 の操作はしないでください。
- Firefox ブラウザを開き [コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。セキュリティ メッセージを受け入れます。
- [設定 (Configuration)] > [ゾーン (Zones)] > [ゾーン (Zones)] タブをクリックし、2 つの **トラバーサル クライアント ゾーン** のいずれかをクリックします。設定の詳細情報に SIP ステータスが [失敗 (Failed)] と表示されることを確認します。
- ピア 1 のアドレス** は **vcse.collabedge-999.dc-YY.com** となります。YY はデータセンターに依存し、01 は AMER、02 は EMEAR、03 は APJ です。

図 6. ゾーン設定



- これで通常のデモ保存プロセスを続行できます。詳細については、Cisco dCloud の [ヘルプ ページ](#) [英語] を参照してください。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年3月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先